

高校生の “しごと観”と“進路選択” に関する調査

～全国高校共同調査「進路や就職についてのアンケート」結果～

2008年 7月1日

新しい人生を、ここから大きく切り開こう

13歳のハローワーク 公式サイト

“しごと観育成” 研究会 事務局

高校生の“しごと観”や進路選択に関する調査のご報告

～ “キャリア教育” によって、勉強のやる気が高まる効果が認められた～

「13歳のハローワーク」公式サイト（*1）企画“しごと観育成”研究会（*2）は、2007年12月から2008年2月にかけて、東京、千葉、愛知、大阪の高等学校16校、5956名の高校生を対象に調査を実施し、研究を行ってまいりました。

調査結果のポイントは以下の通りです。

A：高校生の実態（生活の満足・充実／意欲・姿勢）

- ①『高校生活全体』については概ね満足している。
『友人関係』に満足している人が最も多いが、一方で『勉強』について満足している人は少ない。
- ②高校生については、意欲のある人が多く、学ぶ姿勢も高い。
また、『仕事』への興味・関心も高くなっている。しかし、『周囲や社会』に働きかける気持ちは低い。

B：高校生の“しごと観”

- ③『将来つきたい仕事』について考えている人は非常に多い。

C：“しごと観”の効果と影響

- ④高校生は『仕事』を前向きに考えている。
- ⑤『肯定的な仕事の展望』を持っている人ほど、勉強などの意欲も高い。
- ⑥『仕事』について考えたり、イメージしたりしている人ほど意欲は高い。

D：肯定的な仕事展望を持っている高校生とは？

- ⑦肯定的な仕事展望を持っている人は『専門学校進学希望者』に多い。
キャリア教育は内容次第。キャリアに関する教育施策の評価が高いほど、肯定的な仕事展望を持っており、効果が認められる。

■■ 調査概要 ■■

<調査方法>	各学校内でアンケート用紙を配布・回収
<調査時期>	2007年12月～2008年2月
<調査対象>	東京、千葉、愛知、大阪の高等学校16校（公立：8校／私立：8校）
<有効回答数／分析対象者数>	有効回答数：5956／分析対象者数：2014

以下、詳しいレポートをご参照ください。

*1 「13歳のハローワーク」公式サイトについて

「13歳のハローワーク」：作家村上龍が書きおろした子供のための仕事百科事典で、130万部発行、全国8000校で採用されています。

「13歳のハローワーク 公式サイト」はこの本の公式サイト。村上龍氏の書き下ろしのコンテンツがすべて読めるほか、子どもの質問に対して仕事についている大人が回答する、Q&Aコーナーが充実した、月間850万PVの人気サイト。（<http://www.13hw.com/>）

*2 “しごと観育成”研究会について

“しごと観育成”研究会は「13歳のハローワーク公式サイト」を主体に、その運営会社である株式会社トップアスリートと、株式会社応用社会心理学研究所（アスペクト）が高等教育機関に呼びかけ、研究会の趣旨に賛同していただいた大学の研究者や専門学校と共に2006年10月に立ち上がりました。1期目には「専門学校生と大学生の“しごと観”に関する調査」を実施し、“キャリア・ビュー”という新しい概念を発見しました。2期目よりNPO法人KGCが加わり、教育に関わる専門家や高等学校の先生方なども広く参加していただく研究会活動へと発展中です。

<研究会の目的>

1. しごと観育成のメカニズムの研究・解明
2. 実績と熱意のある教育機関・就職支援機関等の連携による実践的活動の実施および実績作り
3. 上記活動を通じた社会への発信・提言

--- 本件に関するお問い合わせ先 ---

■「13歳のハローワーク」公式サイトについて

■“しごと観育成”研究会について

「13歳のハローワーク」公式サイト

株式会社 トップアスリート

〒150-0002

東京都渋谷区渋谷3-6-16 エメラルドアオキビル201

TEL: 03-5774-1558 E-mail: info@13hw.com

担当: 松尾, 下津

<http://www.topathlete.net/>

■共同調査データについて

株式会社 応用社会心理学研究所（アスペクト）

〒540-0031

大阪市中央区北浜東1-8 北浜東森田ビル5F

TEL: 06-6941-2171 E-mail: 13hw@aspect-net.co.jp

担当: 八木

<http://www.aspect-net.co.jp/>

目次

A：高校生の実態（生活の満足・充実／意欲・姿勢）

①生活の満足度・充実度 P.4

②意欲・姿勢 P.5

B：高校生の“しごと観”

③将来つきたい仕事について P.6

C：“しごと観”の効果と影響

④仕事に対する意識 P.7

⑤肯定的仕事展望と意欲の関係 P.8～9

⑥仕事決定状況やキャリアイメージと意欲の関係 P.10～13

D：肯定的な仕事展望を持っている高校生とは？

⑦肯定的な仕事展望を持っている高校生の特徴について P.14～18

■ A：高校生の実態（生活の満足・充実／意欲・姿勢）

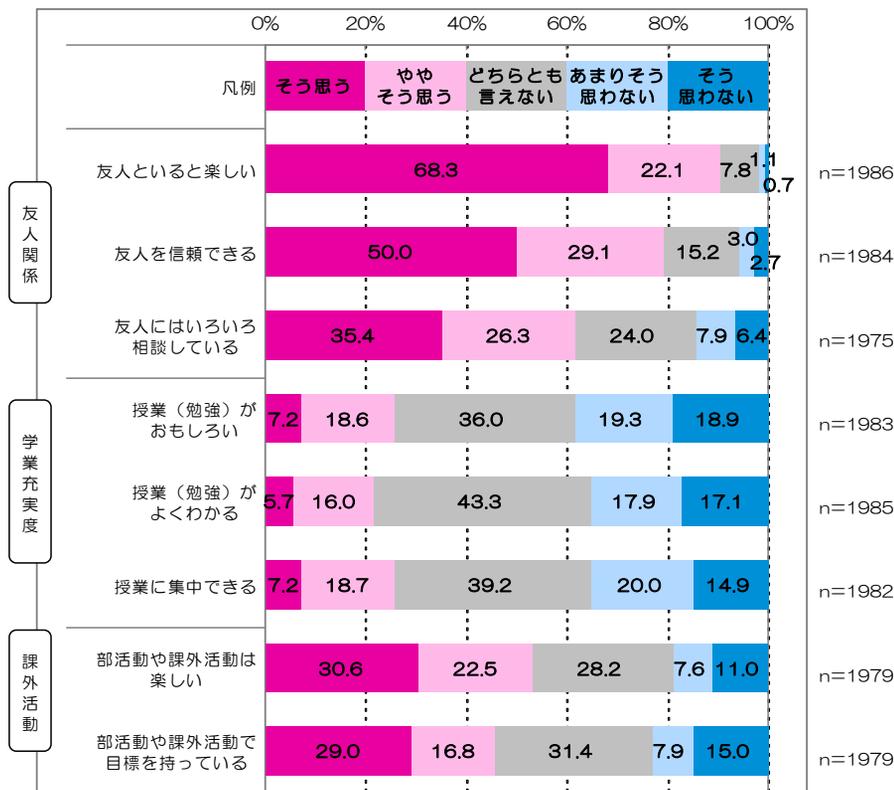
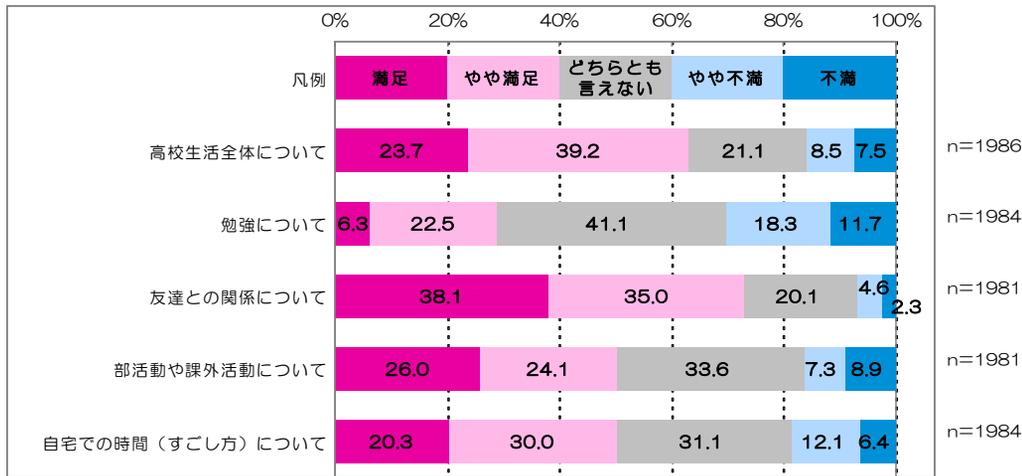
①生活の満足度・充実度

高校生活全体については全体の62.9%が満足している（「満足」「やや満足」合計）と回答し、逆に不満（「不満」「やや不満」合計）は16.0%しかいません。高校生は概ね高校生活には、満足していると言えます。

特に「友達との関係について」で満足度が高く（「満足」「やや満足」合計で73.1%）、「友人といると楽しい」90.4%（「そう思う」「ややそう思う」合計）、「友人を信頼できる」79.1%（「そう思う」「ややそう思う」合計）となっています。

一方で、高校生の本分とも言える「勉強について」での満足度が最も低く、満足している人は28.8%（「満足」「やや満足」合計）しかおらず、不満という人も30.0%（「不満」「やや不満」合計）と多くなっています。

学業について詳しく見ると、「授業（勉強）がおもしろい」「授業（勉強）がよくわかる」「授業に集中できる」の各項目で、そう思う（「そう思う」「ややそう思う」合計）とする人は、それぞれ25.8%、21.7%、25.9%しかおらず、そう思わない（「そう思わない」「あまりそう思わない」合計）人がそれぞれ38.2%、35.0%、34.9%と、そう思う人を上回っています。



■ A：高校生の実態（生活の満足・充実／意欲・姿勢）

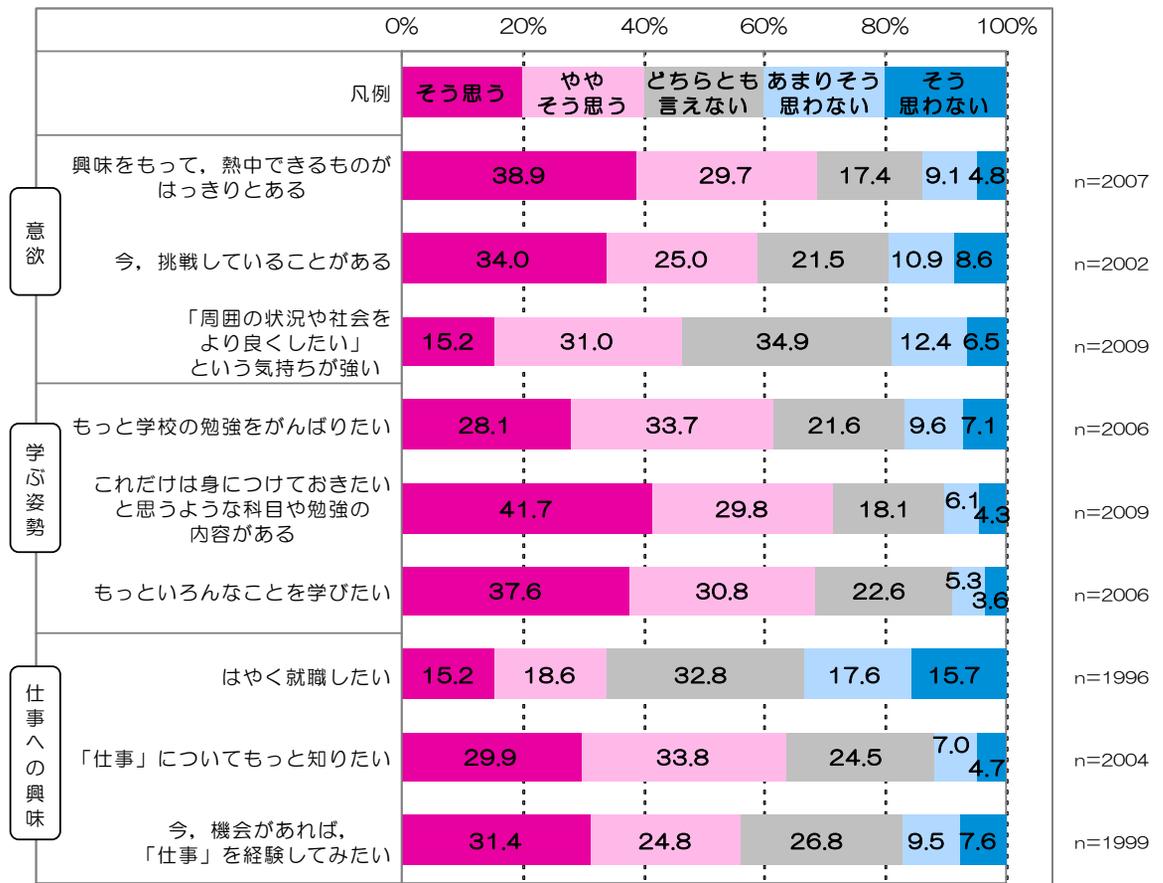
②意欲・姿勢

「興味をもって、熱中できるものがある」68.6%（「そう思う」「ややそう思う」合計）, 「今、挑戦していることがある」59.0%（「そう思う」「ややそう思う」合計）など、意欲の高い高校生が多くなっています。

また、勉強についても満足度は低い（前頁）が「もっと学校の勉強をがんばりたい」61.8%（「そう思う」「ややそう思う」合計）, 「これだけは身につけておきたいと思うような科目や勉強の内容がある」71.5%（「そう思う」「ややそう思う」合計）, 「もっといろいろなことを学びたい」68.4%（「そう思う」「ややそう思う」合計）と、意欲は高いことがわかります。

しかしながら、その一方で「『周囲の状況や社会をより良くしたい』という気持ちが強い」という項目では、そう思う（「そう思う」「ややそう思う」合計）とした人が46.2%と半数に満たない結果で、他者や周囲に向かう気持ちはあまり高くありません。

仕事への興味も高く「『仕事』についてもっと知りたい」では63.7%（「そう思う」「ややそう思う」合計）, 「今、機会があれば、『仕事』を経験してみたい」は56.2%（「そう思う」「ややそう思う」合計）と半数以上の人がそう思っています。



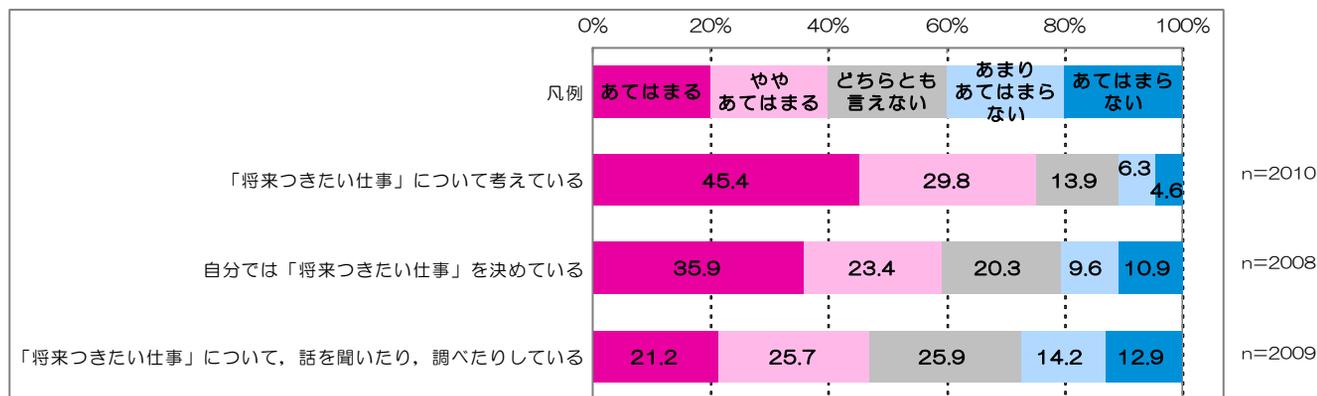
■ B：高校生の“しごと観”

③将来つきたい仕事について

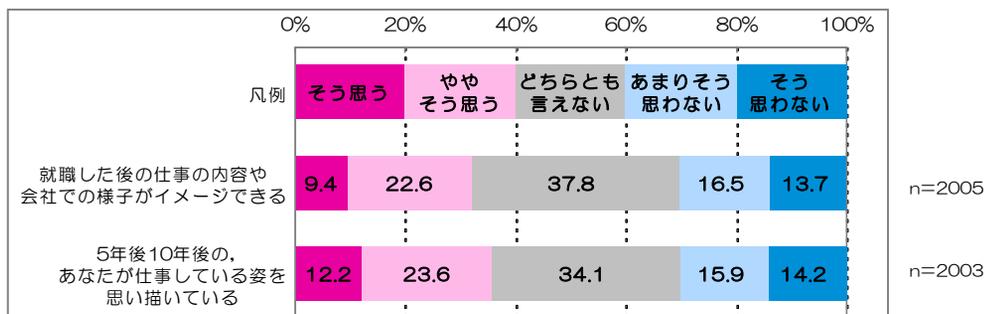
「『将来つきたい仕事』について考えている」人は75.2%（「あてはまる」「ややあてはまる」合計）と非常に多くなっています。

「『将来つきたい仕事』を決めている」人も59.3%（「あてはまる」「ややあてはまる」合計）と、半数以上が将来の仕事イメージしているようです。

また、「『将来つきたい仕事』について、話を聞いたり、調べたりしている」でも46.9%（「あてはまる」「ややあてはまる」合計）と、すでに具体的な行動をおこなっている人も半数近くいることになります。



その一方でキャリアイメージはあまりできておらず、「就職した後の仕事の内容や会社での様子がイメージできる」「5年後10年後の、あなたが仕事している姿を思い描いている」について、そう思う（「そう思う」「ややそう思う」合計）という人は、それぞれ32.0%、35.8%と3人に1人くらいしかいません。



■ C：“しごと観”の効果と影響

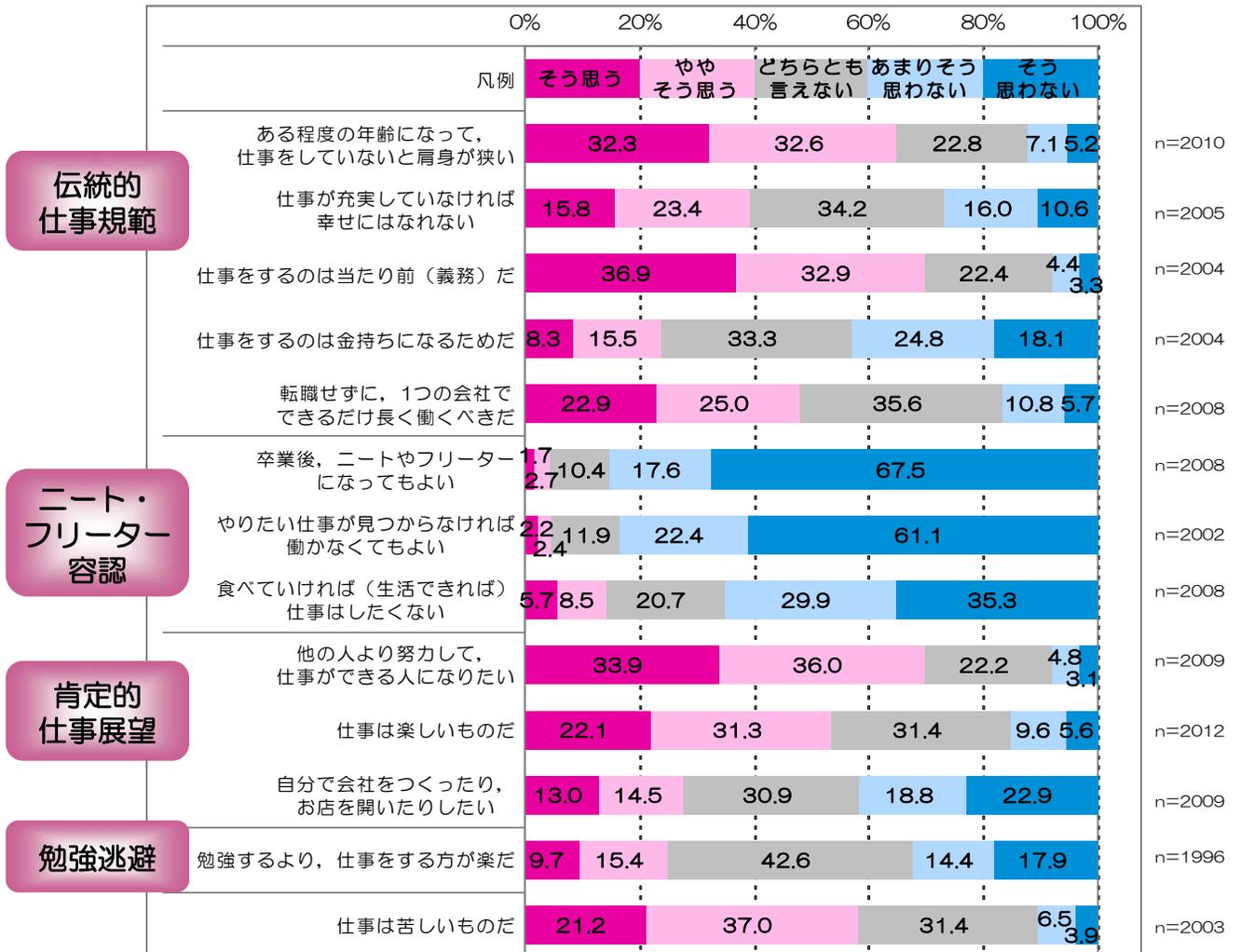
④仕事に対する意識

高校生は“しごと”をどのようにとらえているのでしょうか。

「ある程度の年齢になって、仕事をしていないと肩身が狭い」や「仕事をするのは当たり前（義務）だ」などに「そう思う」「ややそう思う」とする人は6~7割にのぼり、仕事をするのは当然のことだとする人が多数を占めます。

一方、「卒業後、ニートやフリーターになってもよい」という人は4.4%と非常に少なくなっています。

また、「仕事は楽しいものだ」53.4%（「そう思う」「ややそう思う」合計）、「他の人より努力して、仕事ができる人になりたい」69.9%（「そう思う」「ややそう思う」合計）など、将来の仕事に対して前向きな展望を持っている人が多いことがわかりました。



■ C：“しごと観”の効果と影響

⑤肯定的仕事展望と意欲の関係

肯定的仕事展望のある人（高群）の方がいない人（低群）に比べ、「もっと学校の勉強をがんばりたい」「もっといろんなことを学びたい」「今、挑戦していることがある」などの意欲に関するすべての項目で「そう思う」という意欲の高い人の割合が多くなっていることがわかりました。仕事（将来）に夢を描ける人の方が勉強など今やるべきことにも打ち込めるとい結果です。

■肯定的仕事展望

以下の2つの項目を、「そう思う=1点」～「そう思わない=5点」として合算し、合成変数を作成した。

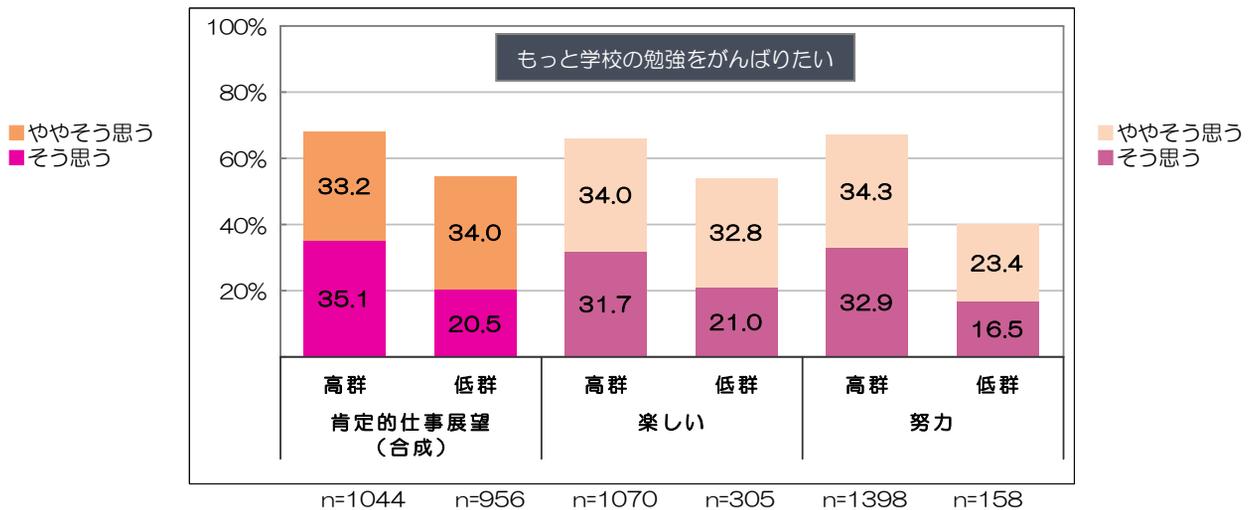
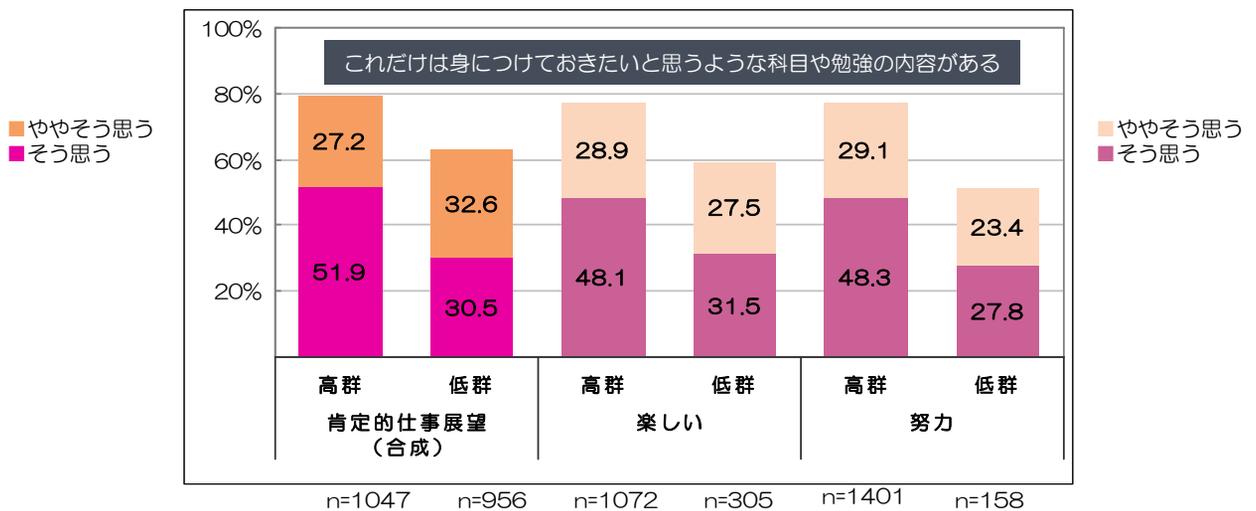
- ・Q11-A 仕事は楽しいものだ
 - ・Q11-L 他の人より努力して、仕事ができる人になりたい
- 合成変数の2～4点を「高群」、5～10点を「低群」とした。

■楽しい

設問「Q11-A 仕事は楽しいものだ」に
 「そう思う」「ややそう思う」と回答した人を「高群」、
 「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した人を「低群」とした。

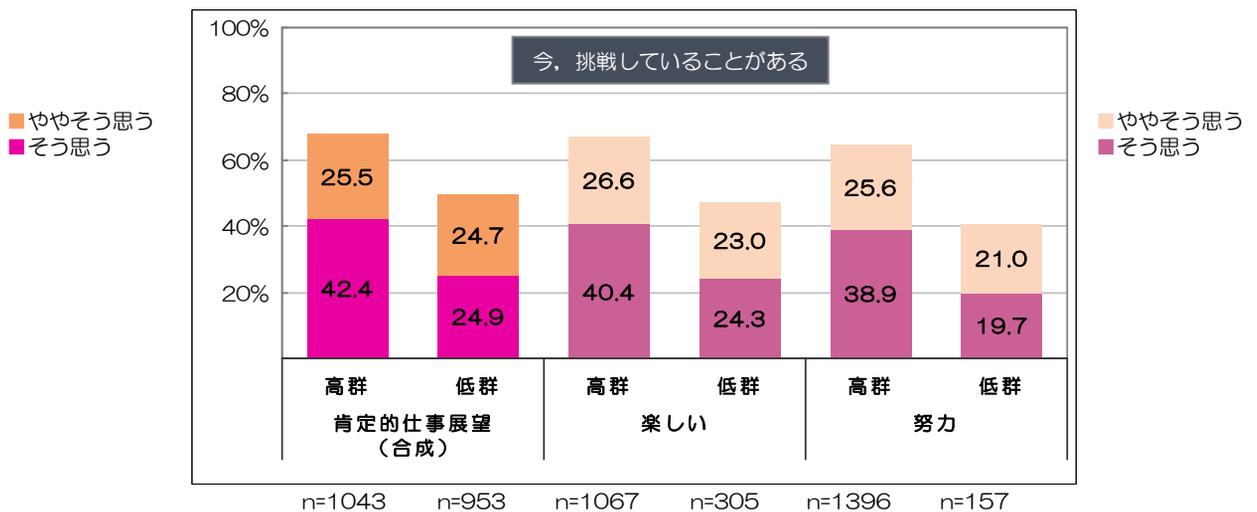
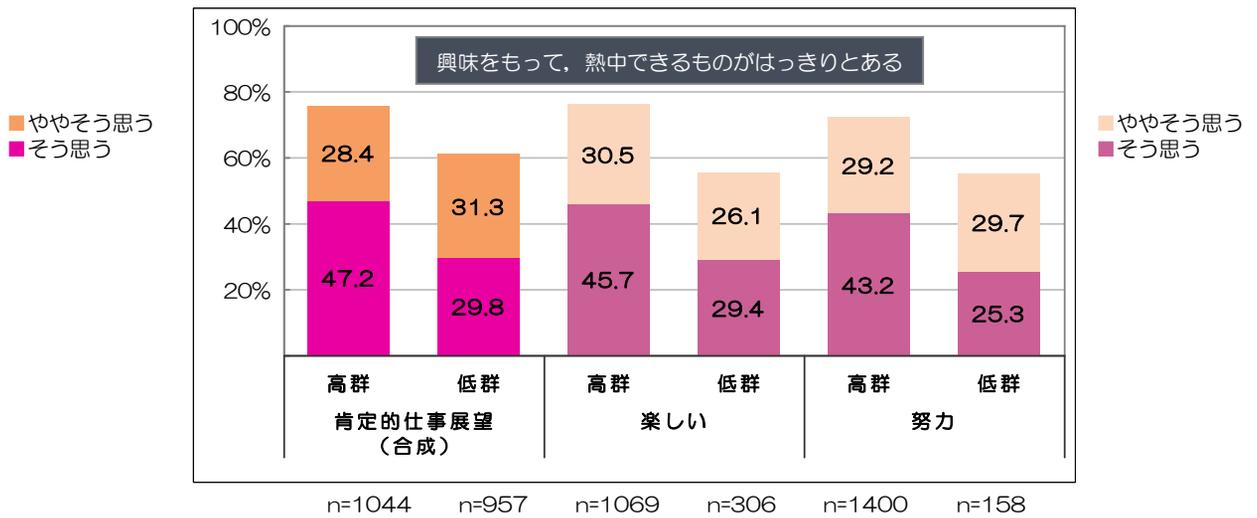
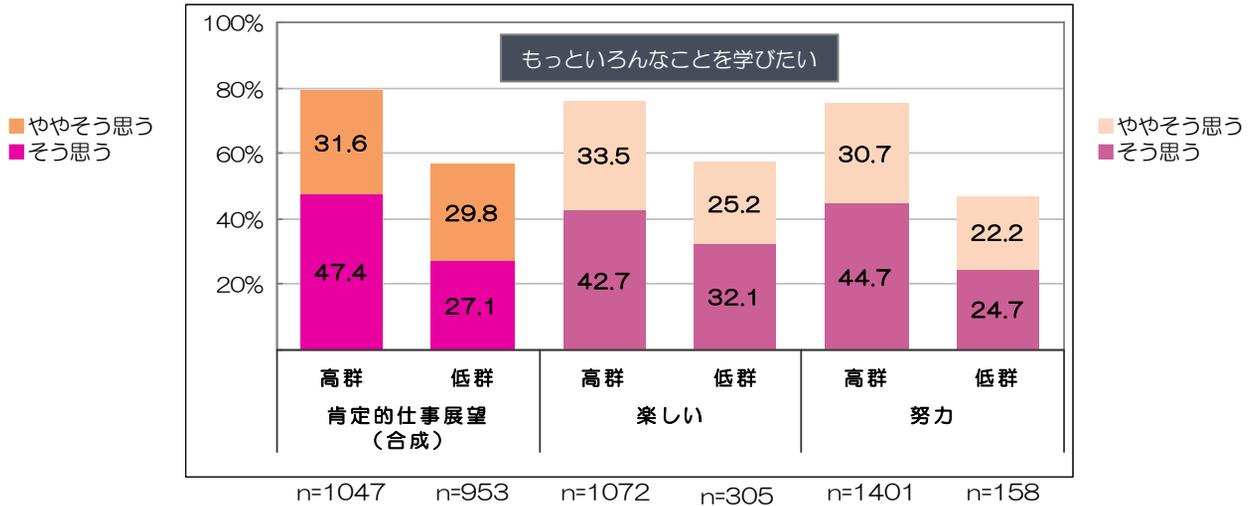
■努力

設問「Q11-L 他の人より努力して、仕事ができる人になりたい」に
 「そう思う」「ややそう思う」と回答した人を「高群」、
 「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した人を「低群」とした。



■ C：“しごと観”の効果と影響

⑤肯定的仕事展望と意欲の関係



■ C：“しごと観”の効果と影響

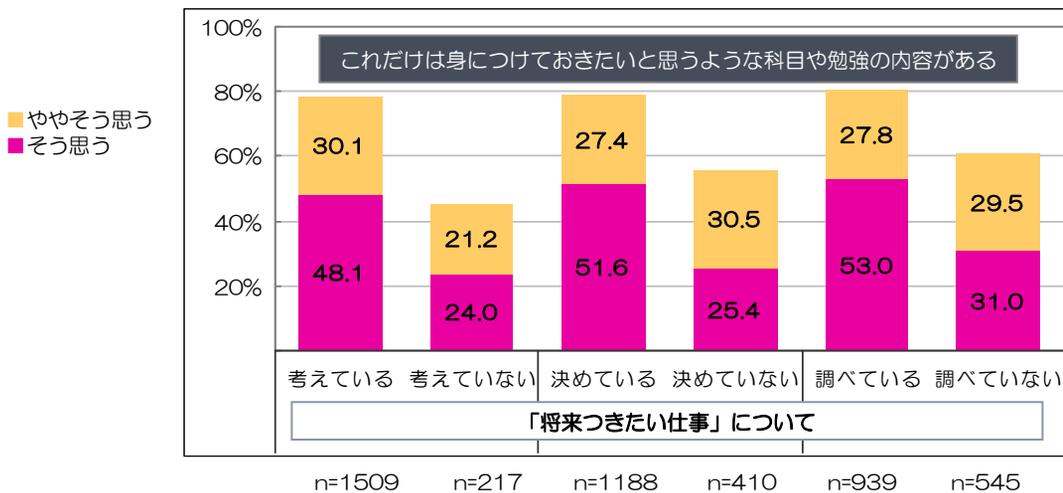
⑥仕事決定状況やキャリアイメージと意欲の関係

進路決定状況別

「将来つきたい仕事」について考えたり、「将来つきたい仕事」を決めている人の方がそうでない人よりもすべての項目で意欲が高くなっています。

将来のイメージをすることで今何かに熱中したり挑戦するだけでなく、「学校の勉強をがんばりたい」や「もっといろいろなことを学びたい」など勉強に対するやる気も高くなっています。

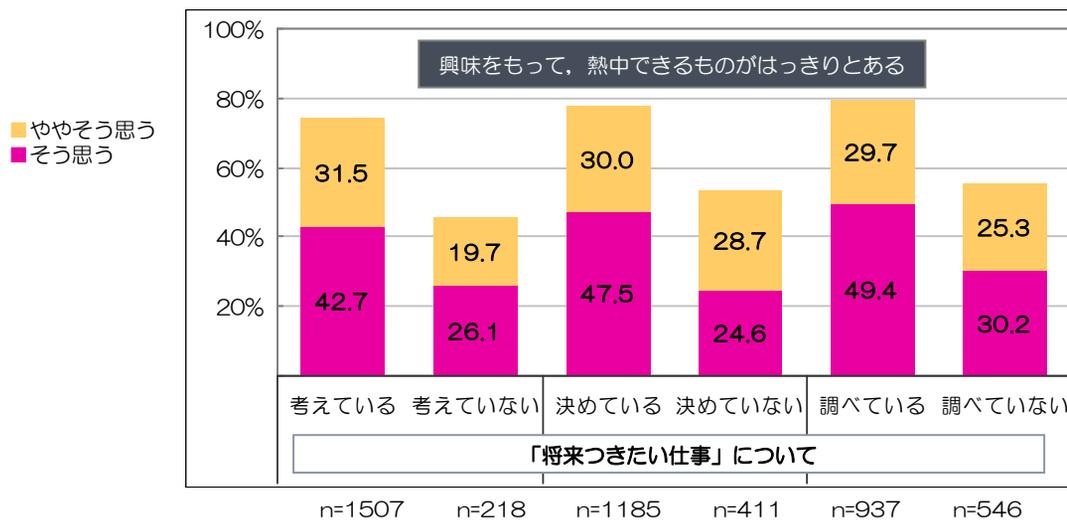
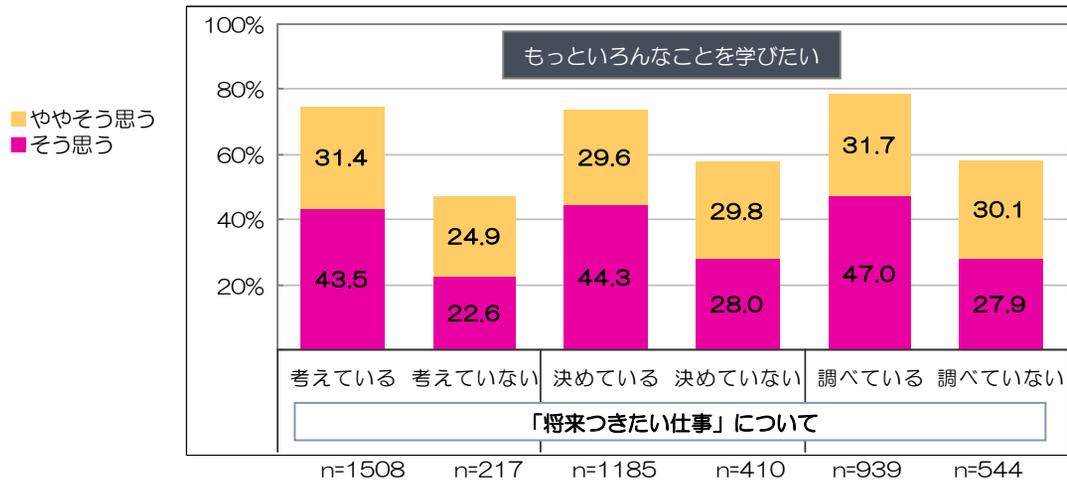
- 「考えている」「考えていない」
 設問「Q4-A 将来つきたい仕事について考えている」に
 「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した人を「考えている」、
 「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と回答した人を「考えていない」とした。
- 「決めている」「決めていない」
 設問「Q4-B 自分では将来つきたい仕事を決めている」に
 「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した人を「決めている」、
 「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と回答した人を「決めていない」とした。
- 「調べている」「調べていない」
 設問「Q4-C 将来つきたい仕事について、話を聞いたり、調べたりしている」に
 「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した人を「調べている」、
 「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と回答した人を「調べていない」とした。



■ C：“しごと観”の効果と影響

◎仕事決定状況やキャリアイメージと意欲の関係

進路決定状況別



■ C：“しごと観”の効果と影響

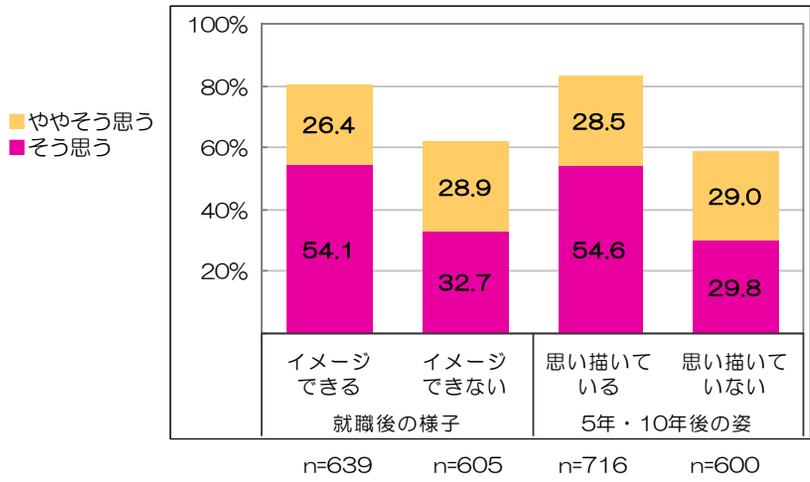
⑥仕事決定状況やキャリアイメージと意欲の関係

キャリアイメージ有無別

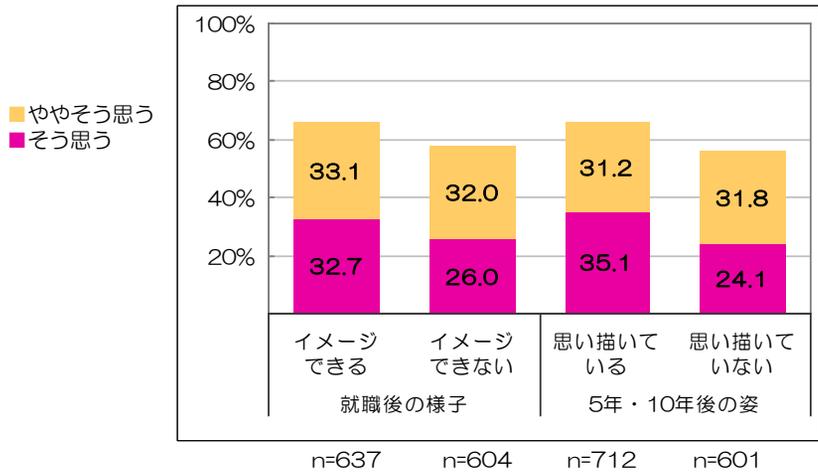
■「就職後の様子」
 設問「Q10-A 就職した後の仕事の内容や会社での様子がイメージできる」に「そう思う」「ややそう思う」と回答した人を「イメージできる」、
 「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した人を「イメージできない」とした。

■「5年・10年後の姿」
 設問「Q10-B 5年後10年後の、あなたが仕事している姿を思い描いている」に「そう思う」「ややそう思う」と回答した人を「思い描いている」、
 「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した人を「思い描いていない」とした。

これだけは身につけておきたいと思うような科目や勉強の内容がある



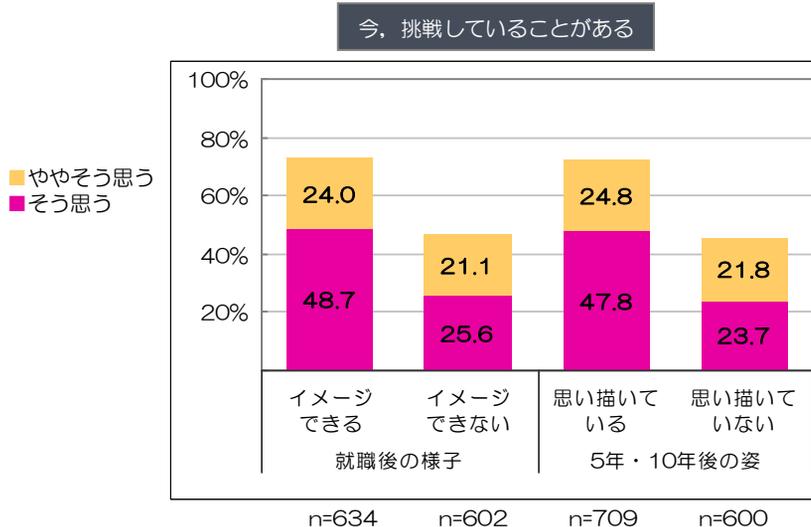
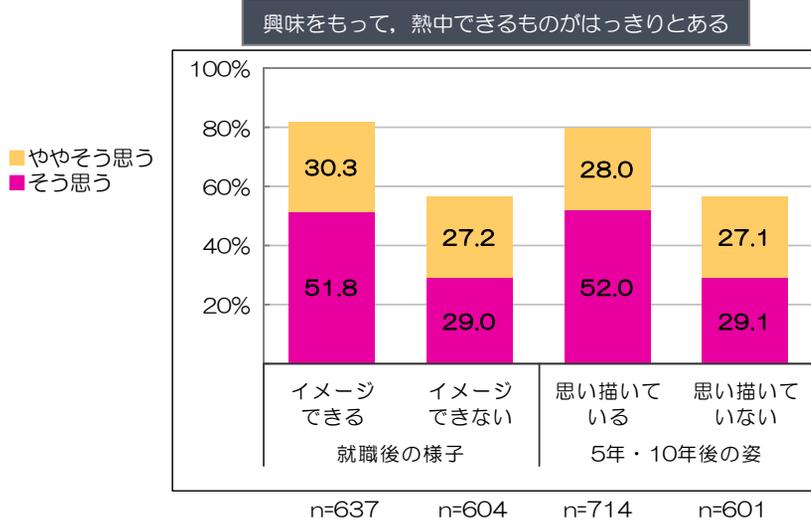
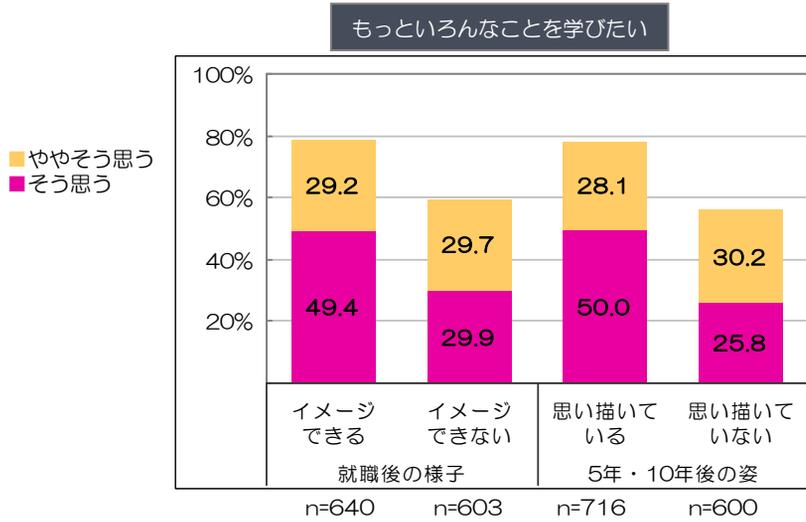
もっと学校の勉強をがんばりたい



■ C：“しごと観”の効果と影響

◎仕事決定状況やキャリアイメージと意欲の関係

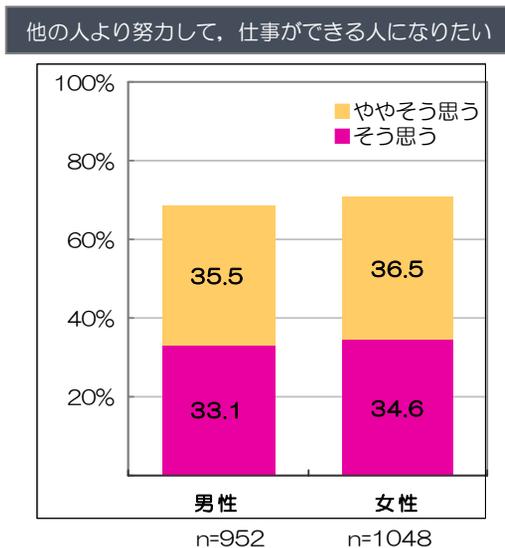
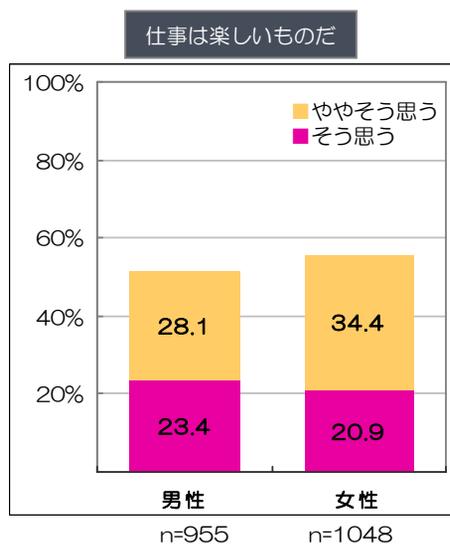
キャリアイメージ有無別



D：肯定的な仕事展望を持っている高校生とは？

⑦肯定的な仕事展望を持っている高校生の特徴について 男女別

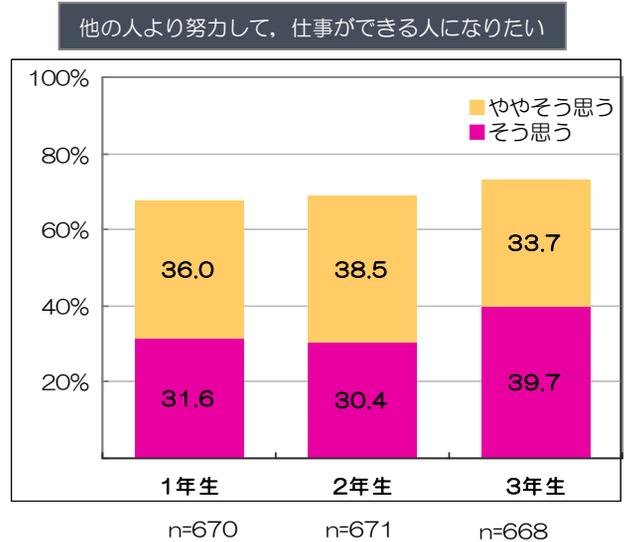
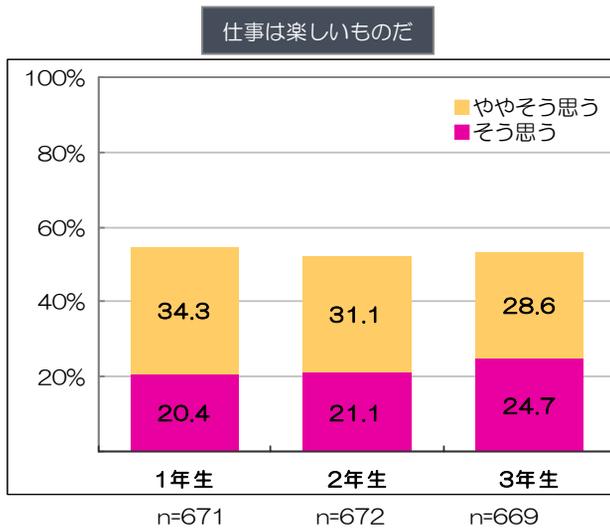
「仕事は楽しいものだ」「他の人より努力して、仕事ができる人になりたい」の両方で、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた割合は、やや女性の方が高くなっていますが、それ程大きな差はありません。



D：肯定的な仕事展望を持っている高校生とは？

⑦肯定的な仕事展望を持っている高校生の特徴について 学年別

「仕事は楽しいものだ」「他の人より努力して、仕事ができる人になりたい」のいずれの項目でも、学年による差はあまり大きくありませんが、「そう思う」という人の割合は、3年生でやや高くなる傾向があります。

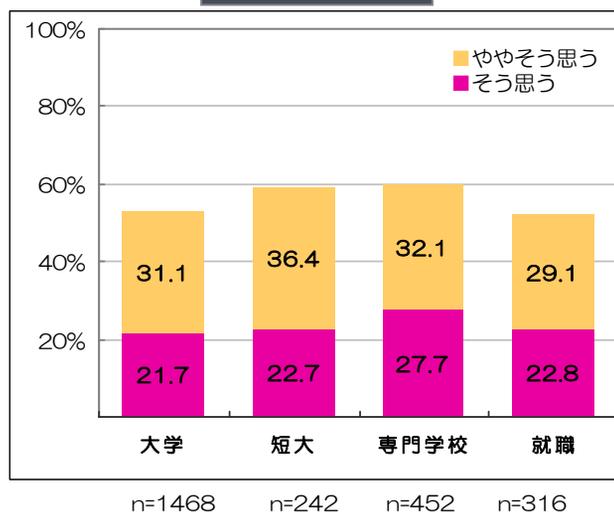


D：肯定的な仕事展望を持っている高校生とは？

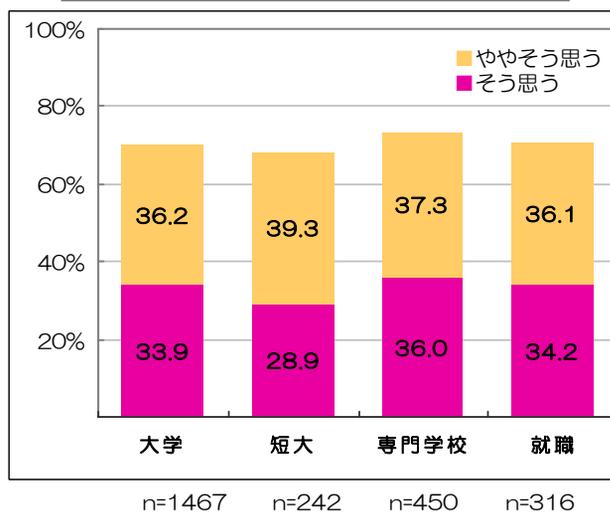
⑦肯定的な仕事展望を持っている高校生の特徴について 希望進路別

「仕事は楽しいものだ」や「他の人より努力して、仕事ができる人になりたい」で「そう思う」と回答した将来の仕事に対して肯定的な考え方をしている人の割合が、「大学」や「短大」に比べ「専門学校」を進路として希望している人でやや多くなっています。

仕事は楽しいものだ



他の人より努力して、仕事ができる人になりたい



D：肯定的な仕事展望を持っている高校生とは？

⑦肯定的な仕事展望を持っている高校生の特徴について

教育施策評価別

仕事や、キャリア教育に関する施策については、受けて「良かった」と評価する人ほど、「良くなかった」という人よりも「仕事は楽しいものだ」「他の人より努力して、仕事ができる人になりたい」という肯定的な仕事への展望を持ちやすくなっています。

ただプログラムがあるだけでなく、内容次第で大きな効果が期待できると言えます。

特に、「地元の会社やまちでの取材やレポートの作成・発表」「将来のキャリアプランや人生プランの作成」「個別の進路相談やカウンセリング」「グループワーク（グループで協力して課題を行う授業）」などで評価の高い場合（「良かった」）と低い場合（「良くなかった」）の差が大きくなっています。

■「教育施策」

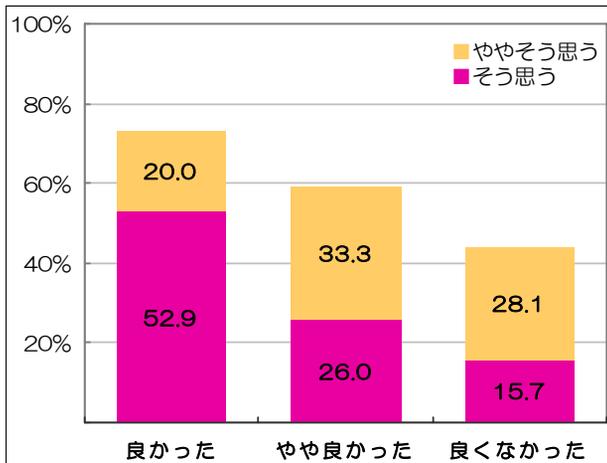
それぞれの施策項目について、次のように回答者をまとめた。

「良かった」...「良かった」と回答した人、

「やや良かった」...「やや良かった」と回答した人

「良くなかった」...「どちらとも言えない」「あまり良くなかった」「良くなかった」と回答した人。

仕事は楽しいものだ



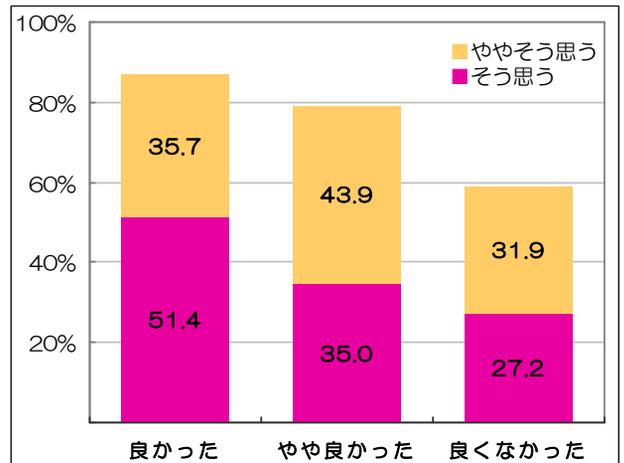
●地元の会社やまちでの、取材やレポートの作成・発表

n=70

n=123

n=573

他の人より努力して、仕事ができる人になりたい

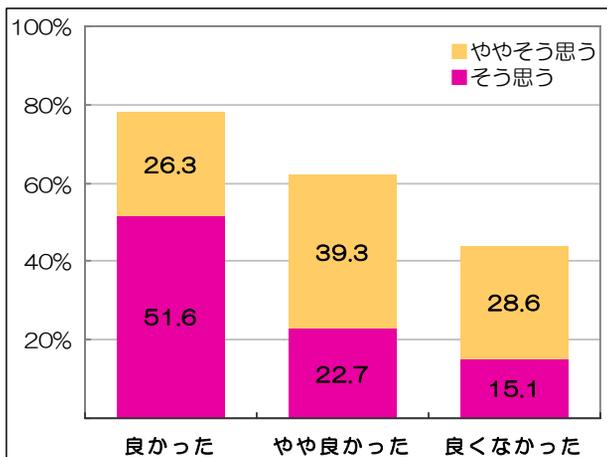


●地元の会社やまちでの、取材やレポートの作成・発表

n=70

n=123

n=573

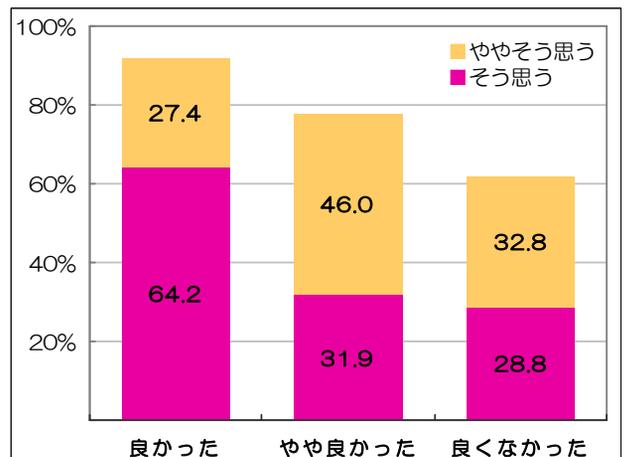


●将来のキャリアプランや人生プランの作成

n=95

n=163

n=597



●将来のキャリアプランや人生プランの作成

n=95

n=163

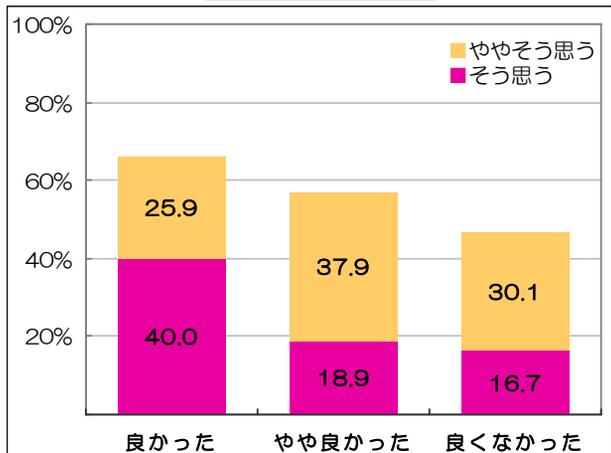
n=597

D：肯定的な仕事展望を持っている高校生とは？

⑦肯定的な仕事展望を持っている高校生の特徴について

教育施策評価別

仕事は楽しいものだ



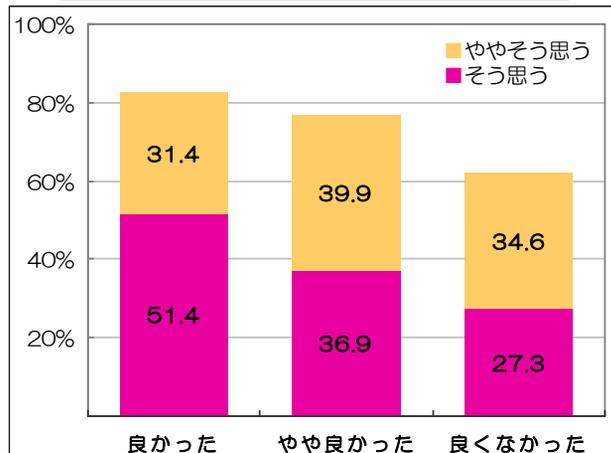
●個別の進路相談やカウンセリング

n=185

n=264

n=682

他の人より努力して、仕事ができる人になりたい

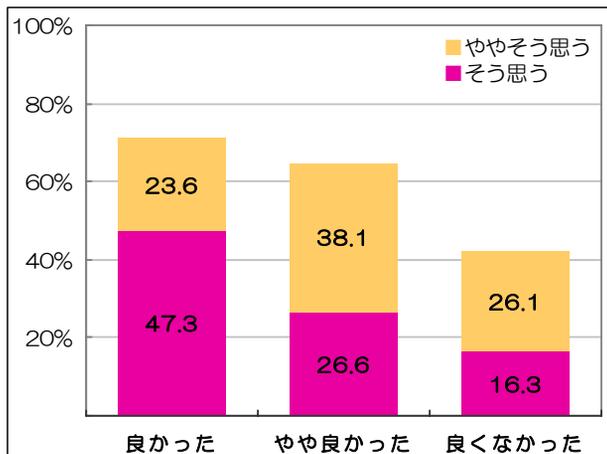


●個別の進路相談やカウンセリング

n=185

n=263

n=682

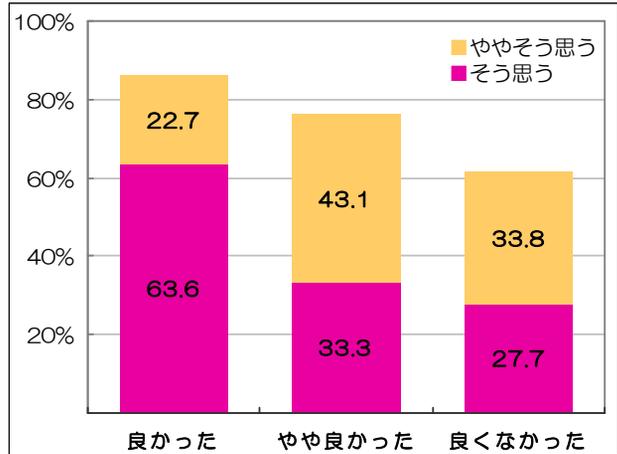


●グループワーク（グループで協力して課題を行う授業）

n=110

n=218

n=620

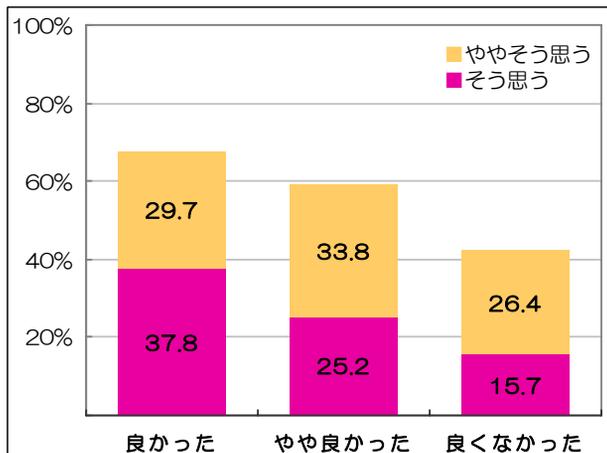


●グループワーク（グループで協力して課題を行う授業）

n=110

n=216

n=621

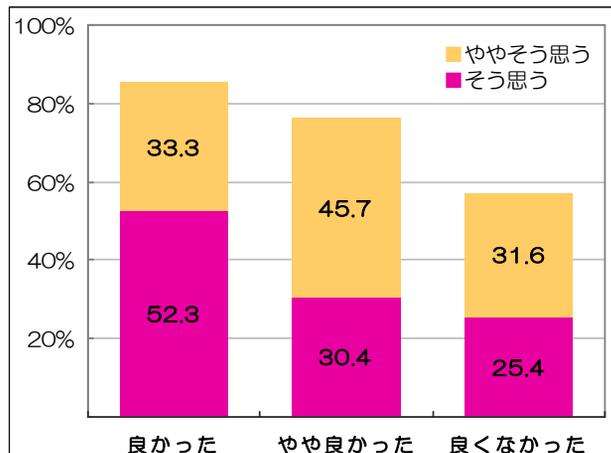


●専門科目（農業・技術・商業など職業に関する科目）

n=111

n=139

n=516



●専門科目（農業・技術・商業など職業に関する科目）

n=111

n=138

n=516